

レジンの世界



名前 藤井 里海
宇土 しずく

今日のプレゼンのゴール

私たちがレジンの作品を作った理由と、
お商売の結果を皆さんに伝えたいと思っ
ます。

プロジェクトの内容



- 1 ハンドメイド商品を作る。
- 2 ポスターをつくる。
- 3 宇治橋通り商店街で売る。
- 4 3,000円以上の売り上げで能登半島地震に募金

プロジェクトのきっかけ・理想像

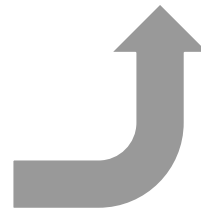


きっかけ

ハンドメイドが、得意で好きだったから。

理想像

もっとハンドメイドが好きな人が増えて欲しい。



プロジェクトの成功基準

成功基準

3,000円以上の売り上げで能登半島地震に募金

成功例

3,000円以上の売り上げで能登半島地震に募金できる。

しっばい例

3,000円以下の売り上げ。能登半島地震に募金できない

プロジェクトで具体的にやったこと



材料を揃える

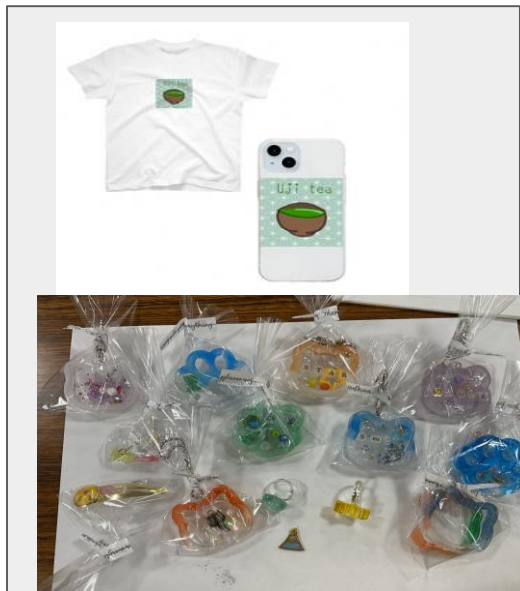


ポスターを作る
キーホルダーを作る



お客さんを呼び
込んで売る。

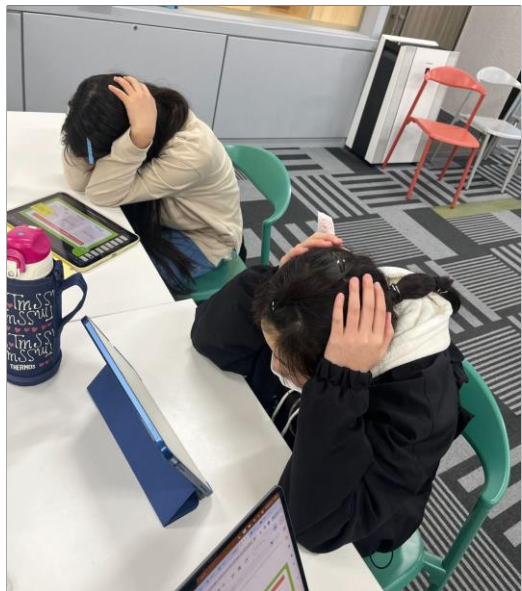
プロジェクトの結果



結果：成功

- 約4,000円の売り上げ。
- キーホルダーが全て売れた。
- たくさんの人がかってくれた

プロジェクトで苦労したこと



苦労したこと

- 苦労①：レジンがうまく固まらなかった。
- 苦労②：ポスターをどのように作れば
良いか分からなかった。
- 苦労③：お客さんを呼び込むのが難しかった。



レジンはたくさんライトをあてて固めた。ポスターはアイデアを調べて参考にした。お客さんは大きい声と大きいポスターで呼びこんだ。

プロジェクトを通して学んだこと

学び①

商売は、商品を作ったり、
お客さんを呼び込んだりすることが難しい。

学び②

外国の人たちが英語を喋って、
英語を少しは覚えておくほうが便利だということ。

学び③

ティッシュだったり街中で配ったりしている人の
気持ちがわかった。

最後に . . .

私たちは、1月1日に起こった能登半島地震の被害者の方に、
少しでも楽になってもらいたいという気持ちで
キーホルダーを作り、商店街の観光客の方に買ってもらい、
募金することだけを考えてプロジェクトを進めました。